

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET45H006	知的障害教育演習(Seminar on Education for Persons with Mental Retardation)					特別支援教育						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 田中新正・古賀精治 E-mail skoga@oita-u.ac.jp 内線 7521						
授業の概要	知的障害のある子ども達に関する最近の実験研究・調査研究・実践論文を熟読して、特別支援教育のあり方について討論し理解を深める。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	知的障害のある子どもに関する専門的な研究・実践論文を読み取れるようになる。											
目標2	知的障害に関する新しい知識について述べる事ができる。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容	1 知的障害児の自己理解と他者感情の識別 2 知的障害児のコミュニケーション指導 3 知的障害児の知的機能のアセスメント 4 重度知的障害児の定位・探索行動の発達 5 重度知的障害児の要求伝達行動の形成 6 知的障害児の行動調整機能の発達 7 知的障害児の問題行動の機能的アセスメント 8 知的障害児の問題行動の改善 9 知的障害児の教概念の発達 10 知的障害児の数刺激等価関係の発達の特徴 11 知的障害児の性教育 12 知的障害児の就学指導 13 知的障害児のキャリア教育 14 特別支援教育推進のための校内支援体制 15 特別支援教育コーディネーターの役割と課題											
ラ ア ク ニ テ ン イ グ ラ フ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	発表およびディスカッションを中心に行う。			工 夫 そ の 他 の							
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業内容に関わる論文等を精読しておくこと(15h)。										
	事後学修	授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等により「調べ学習」に取り組むこと(15h)。										
教科書	特に使用しない。適宜、必要に応じてプリントを配布する。											
参考書	参考書については、できるだけ新しいものをその都度紹介する。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	討論への参加状況等の平常点	50%										
	学期末レポート	50%										
注意事項	なし。											
備考	なし。											
リンク	URL											